

私の描く夢に向かって「自分づくり」の毎日を —

COSMORAMA

2013 NOVEMBER

コズモラマ

文部科学省

「地(知)の拠点 整備事業」に 採択

名古屋学院大学
中長期計画

名古屋学院大学
50年の歩み



経済学部 政策学科3年 澤田 知嗣さん <P.3に記事掲載>

「名古屋学院大学中長期計画 Look Forward 2014-2023」を 策定しました。



大学創立50周年という記念すべき年を迎えるに当たり、さらに社会に貢献する大学として、そして魅力的な大学として一層発展するため、8月に新たな時代の名古屋学院大学像を示した「名古屋学院大学中長期計画-Look Forward 2014-2023-」を策定しました。

計画では、本学のミッション(『敬神愛人』の精神を尊重し、高い志と豊かな国際感覚を備えた、社会の発展に貢献する人材を育成する。)を果たすために、今後10年間に目指す具体的な大学像を次のように定めました。

総合ビジョン 建学の精神「敬神愛人」に基づき、教育・研究・社会貢献の各側面において絶え間ない改革を実行し、とりわけ教育重視の大学として有為な人材を輩出することにより、社会から強固な信頼を獲得し、中部地区で確固たるプレゼンスを発揮する大学になる。

この総合ビジョンを実現するための基本方針は次の通りです。

1. 教育ビジョン

社会や産業界が求める質の高い学士課程教育を確立する
建学の精神に基づく人間性、教養、コミュニケーション能力を有し、グローバルな視点を持ちつつ、社会の課題を主体的に発見し解決できる人材を育成する。

2. 研究ビジョン

社会や産業界の発展を支える研究拠点を形成する
優れた教育を推進するために、自由闊達な研究環境を維持し、創造的研究に取り組み、社会や産業界の発展を支える研究拠点を形成する。

3. 社会貢献ビジョン

知の拠点としての存在感を高め、活力ある社会づくりに貢献する
教育研究の成果を地域社会に積極的に還元し、知の拠点としての存在感を高めるとともに、企業・自治体・住民等と連携し、活力ある社会づくりに貢献する。

現在、このビジョンを達成するために早急に実施すべき具体的な行動計画(2014~2018年度)の策定に向けて、専門委員会等を設置して検討を進めています。詳細は関連ホームページをご覧ください。 <http://www.ngu.jp/>

平成25年度 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択



事業の概要
両市の地域課題は、地域の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくり、すなわち「地域の質」の向上を図ることです。この事業では「地域商業」、「歴史観光」、「減災福祉」の3つのまちづくりアプローチにより、大学がある名古屋市、瀬戸市の課題解決を図ります。そのために、本学は大学・地域(住民や企業、団体・行政)からなる連携体制(「地の拠点」のもとに、教育・研究・社会貢献をプロジェクトに継続集中させる三位一体型地域還元手法(「知の拠点」)を用いて、学年次に合わせた学生・教員参加の教育イベントと現場重視の調査・分析・提案を行う課題解決型授業(※PBL)を組み合わせる段階発展型カリキュラムを導入して地域目標を達成していきます。

「地(知)の拠点整備事業」とは

大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図る事業です。

※PBL: Problem Based Learning

地域の中心となる大学へ

名古屋市、瀬戸市と連携して地域課題の解決に取り組む本学の事業計画が文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択されました(全国の大学等から319件の申請があり52件が採択)。事業期間の5ヶ年を通して、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めます。

事業名称
「地域の質」を高める
「地」域連携・「知」識還元型
まち育て事業



Contents
Vol. 90
2013
NOVEMBER

- 1・2 平成25年度 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択 名古屋学院大学中長期計画を策定
- 3 活躍するNGU生……澤田 知嗣さん
- 4 瀬戸キャンパスより
・「品野の森里山学校 サマースクール」を開催
・スポーツ健康学部・リハビリテーション学部が
スポーツ大会・運動会を開催
被災地支援ボランティア
- 5 教育研究振興資金募金のお礼とお祝い
- 6 名古屋学院大学50年の歩み
・名古屋キャンパスの開設……西中 利也
50周年記念サイト紹介
- 7 2013年度 父母懇談会を終えて
2013年度 学部長表彰式が執り行われました
- 8 就職戦線
- 9 シリーズエッセイ④
文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択
……井澤 知旦
- 10 私の講義日誌②
「基本的人権とは何かを理解し、
社会で起きる人権侵害の問題を
どのように解決したらよいか」
……山本 悦夫
- 11 2013年度 父母会総会開催
2012年度 同窓会決算書
- 12 2012年度 決算総括表
- 13・14 Information
2013年度主なクラブ活動実績
2013年度新任職員紹介
Event Information
行事予定 2013年12月~2014年3月

夏休みに被災地ボランティアに行ったと伺いました。参加しようと思ったきっかけを教えてください。

ボランティアに行った友人の話を聞き、夏休みを利用してボランティアをしたいと考えたのがきっかけです。最近ではテレビのニュースや新聞でも、二期期に比べて、被災地の話題が取りあげられることが少なくなつたように感じます。「今現在の東北はどうなっているのか。震災から2年たつた今の東北を自分の目で見るため、大学の被災地支援ボランティアプロジェクトに参加しました。」



被災地ボランティアではどのような活動をしましたか？

岩手県釜石市で仮設住宅の訪問と、カルタ作りをしました。仮設住宅訪問では「座布団プロジェクト」という手作り座布団をお渡しするプロジェクトを通して、仮設住宅に住む方々とふれあう機会を頂きました。そこでは世間話から現在の状況、震災前と後での生活の違い、地震や津波が起きた時のことまで、さまざまなお話を聞くことが出来ました。カルタ作りは、絵も文章も釜石市にちなんだカルタをお年寄りの方々と皆で考えて作る活動です。その後カルタを仮設住宅の壁に飾る機会があったのですが、飾り終わった時、自然と拍手が起きました。この瞬間「つつながりが出来たんだ」と実感しました。

ボランティアをして何か感じたことはありますか？

もともとは東北へ行き、被災者の方々に何かできることがあればと思い、今回のボランティアに参加しました。けれど、名古屋に帰ってきて感じたのは「何かをした」というよりも

interview 活躍するNGU生

「何かをした」というよりも「何かをもらった」という気持ちの方が大きいということ。」



経済学部 政策学科3年
さわだ ともつぐ
澤田 知嗣さん

「何かをもらった」という気持ちの方が大きいということ。釜石の方々が、僕たちの住む名古屋で起こるかもしれない東海大地震のことを心配してくださり、自ら体験したようなことが、今後他の地域で起きてはくならないという気持ちが伝わってきました。今の東北では震災があったからこそ、人々がより強く、より支え合って生きているのではないかと感じることもありました。これは同時に今の自分に足りない点だと感じています。

今後、学生生活で取り組みたいこと、頑張りたいことを教えてください。

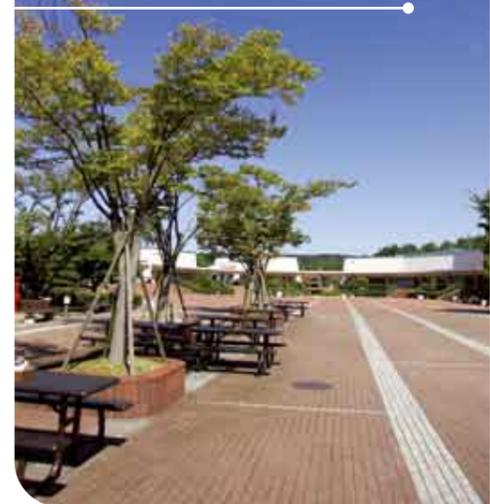
もう1度ボランティア活動に参加したいと考えています。また釜石市

に行くことができれば、また国内はもちろんのこと、海外にも目を向けて海外ボランティアに行くことも考えています。ボランティア以外にもサークルや資格取得など頑張りたいことはたくさんありますが、残り少ない学生生活を悔いの残らないように中身のあるものに使いたいです。

ありがとうございました。



瀬戸 キャンパスより



「品野の森里山学校 サマースクール」を開催

7月27(土)・28日(日)に、地元の小学生の皆さん(27名)を招いて、毎年恒例となった「品野の森里山学校サマースクール」を瀬戸キャンパスで開催しました。

講師はリハビリテーション学部長の木村教授。天気にも恵まれ、1日目はキャンパス内の森のなかでロープ遊びをし、夜は花火をしました。そして翌日は川遊びをして自然を体感しました。



スポーツ健康学部・リハビリテーション学部が スポーツ大会・運動会を開催

10月25日(金)にスポーツ健康学部がスポーツ大会、26日(土)にリハビリテーション学部が、リハビリテーション学部運動会を開催しました。これは学内内で先輩や同級生、後輩との交流を深めることを目的として学生が主体となって企画したスポーツ交流会です。

当日はスポーツ健康学部、リハビリテーション学部ともに白熱した学生の姿が見られ、有意義な交流会となりました。



被災地支援ボランティア

昨年度に引き続き、2013年度も夏季休暇中の被災地支援ボランティアを実施しました。今年度は5つのプロジェクトに約70名の学生が参加し、主に被災地での活動を行いました。

また昨年度同様、希望者には「ボランティア演習」として単位を付与する形式をとりました。教育プログラムとして事前学習・事後学習を設け、ボランティアについて考える機会となりました。



- 1 エマオプロジェクト**
(活動地:宮城県仙台市、石巻市)
◆提携団体:日本基督教団 ◆活動内容:農業復興支援等
- 2 聖公会プロジェクト**
(活動地:岩手県釜石市)
◆提携団体:日本聖公会 ◆活動内容:仮設住宅支援等
- 3 気仙沼プロジェクト**
(活動地:宮城県気仙沼市)
◆提携団体:東北学院大学 ◆活動内容:漁業復興支援、お祭り手伝い等
- 4 復興インターンプロジェクト**
(活動地:宮城県気仙沼市、南三陸町)
◆提携団体:東北学院大学・復興庁宮城復興局 ◆活動内容:産業復興支援等
- 5 YWCAプロジェクト**
(活動地:本学瀬戸キャンパス、名古屋周辺)
◆提携団体:名古屋YWCA ◆活動内容:福島の子供養育プログラム

近年、各大学の都心回帰が話題となっているが、名古屋学院大学は2007年4月に名古屋キャンパス（白鳥学舎、日比野学舎）を開設し、都心回帰のさきがけとなった。

2002年度後半からスタートした名古屋キャンパスの設置計画は、18歳人口が減少し、入学志願者の確保が困難な状況に対処するため、通学の利便性を向上する

名古屋学院大学50年の歩み

名古屋キャンパスの開設～40年ぶりの都心回帰～

名古屋学院大学 事務局次長 西中 利也

とともに、都市型学部である経済・商・外国語学部の教育・研究環境を整備することにより大学の発展をはかることを目的とした。2003年4月からの調査・検討の結果、同年8月、通学の利便性と静かな環境を併せ持つ名古屋市熱田区に新キャンパスを開設することを決定し、2007年4月に法人本部、経済・商・外国語学部および大学院（部）が40年ぶりに本学発祥の地である名古屋市に回帰することとなった。

また、豊かな自然に囲まれ、思索と学びの環境に恵まれた瀬戸キャンパスに、2006年4月、人間健康学部（現スポーツ健康学部、リハビリテーション学部）を開設し、瀬戸キャンパスの運動施設等教育環境のさらなる拡充をはかっている。

2013年5月1日現在、新設の法学部を合わせ名古屋キャンパスで4,394名、瀬戸キャンパスで842名の学生が学んでおり、名古屋学院大学は、2014年度を迎える大学創立50周年を機にさらなる発展を目指し力強い歩みを続けている。



50周年記念サイト開設予定

創立50周年となる2014年に向け、名古屋学院大学では「創立50周年記念サイト」を立ち上げる予定です。

50周年記念イベントに関する新着情報の掲載をはじめ、50周年ロゴマーク・キャッチフレーズや記念事業の概要紹介、また様々な年代の卒業生の方々のインタビューを掲載するスペシャルコンテンツ「名古屋学院大学50年の歩み」等、充実した内容のWebサイトです。

公開は12月を予定しています。ぜひご覧ください。

※50周年記念サイトは、名古屋学院大学のホームページ、トップページ右のパナーからアクセスできます。



※50周年記念サイトの完成イメージ

教育研究振興資金募金のお礼とお願い

教育研究振興資金募金にご賛同いただき、ご寄付いただきました皆様方へ心から感謝申し上げます。

2013年度前期の募金につきまして、寄付者ご芳名（敬称は略させていただきました）をまとめさせていただきました。

名古屋学院大学では、継続して教育・研究の充実、発展に必要な経費及び施設拡充のため「教育研究振興資金」へのご協力を広くお願いしております。これからもご協力をよろしくお願い申し上げます。

教育研究振興資金募金（2013年4月1日～2013年9月30日受付分）

〈121件〉2,470,000円

学生父母関係		教職員関係	
〈104件〉1,330,000円		〈14件〉1,020,000円	
100,000円	匿名希望1件	300,000円	匿名希望1件
50,000円	匿名希望3件	200,000円	匿名希望1件
30,000円	近藤繁生 村井司 大石典功	150,000円	匿名希望1件
20,000円	伊藤均 磯野純 上松久美子	100,000円	稲垣隆司 有賀敏之
10,000円	小原重宏 渡邊順子 佐藤源之 野末英則 征矢裕 松井幸夫 鈴木信市 中西弘恵 中山治 熊木達也 菅原毅 望月祐二 次廣幸司 大森俊直 櫻井雅之 小出稔実 酒井秀明 坂本準一 市川千尋 伊藤賢三 及部幸孝 松枝俊朗 関秀次 瀧美弘光 大田達也 古謝克幸 近藤博之 更谷徳之 二村忠男 船橋博 田邊浩 高橋育良 大澤正忠 酒井政智 福山嘉久 金田勲 境田紀之 中村州宏 井口いづみ 杉浦豊 宮野静代 池田和道 奥原弘 谷岡広志 南和秀 山下正史 匿名希望46件	50,000円	岡田千尋 浜山照夫
5,000円	出仙和子 佐々木祥内枝	20,000円	三井哲
		10,000円	伊藤信義 小川文雄 匿名希望2件
		5,000円	占部憲一 匿名希望1件
卒業生		その他	
〈1件〉10,000円		〈1件〉10,000円	
10,000円	柴田哲治	10,000円	橋本節生
企業・法人		その他	
〈1件〉100,000円		〈1件〉10,000円	
100,000円	有限会社マイ・エス・スイミング		

教育研究振興資金募金について

寄付金の使途 教育研究振興資金に充当させていただきます。

- 寄付金要項**
1. 寄付金種類 1口 1万円（1口以上）
 2. 振込方法 郵便局からお振込みください。手数料は必要ありません。お申し出いただければ、振込用紙をお送りします。
 3. 寄付者ご芳名等の公示 寄付者ご芳名、寄付金額につきましては大学広報誌「コスモラマ」に掲載させていただきます。

4. 寄付金に対する減免税措置について
- 個人が名古屋学院大学にご寄付した場合、税制上の優遇措置を受けることができます。
- 寄付金額が2千円を超える場合に確定申告を行うと所得税の控除を受けることができます。
- 税額控除は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除されます。税額控除額＝（年間の寄付金額－2,000円）×40%
- 但し、新入生の場合には、入学年の4月から12月までの寄付は控除を受けることはできません。

お問合せ先
名古屋学院大学
財務課募金係 TEL: (052) 678-4084

募金口座は下記の口座をご利用ください。
ゆうちょ銀行
●口座番号 00890-9-80542 ●口座名 学校法人名古屋学院大学

名古屋学院大学「名古屋キャンパス50周年記念棟建設募金」のお願いについて

本学は、来年、創立50周年を迎えます。その記念事業の1つとして名古屋キャンパスに校舎「50周年記念棟」を建設いたします。広くご賛金を募集しており、在校生のご父母のみならずには何卒ご支援を賜りたくお願い申し上げます。同封の募金趣意書をご覧の上、「払込取扱票」にて郵便局からお振り込みをお願い致します。なお、この募金は任意のものです。

募金にご協力頂いた方々の御氏名・金額は銘板に刻銘し、末永く顕彰いたします。また、コスモラマにも掲載させていただきます。なお、掲載をご辞退される方はご面倒ですが募金事務局までお知らせください。



2013年度 父母懇談会 を終えて



よりよい学習環境づくりに
みなさまの声を活かします

今年の父母懇談会大会会場は、9月14日（土）に名古屋キャンパス、瀬戸キャンパスで同時開催しました。学部ごとに別れた会場で、各学部長が名古屋学院大学および学部の近況と将来への展望について報告をしました。その後、教職員との面談コーナーでは将来の進路や学修状況について多くの相談が寄せられました。また「父母のための就職懇談会」現役学生による体験談／これが本当の就活だ!!」では、内定を得た在学生による生の報告に、真剣に聞き入るご父母の姿が見られ、就職に関する関心の高さが見られました。9月7日（土）に開催した地方会場も、台風の影響が心配されましたが無事全会場で開催することができました。次年度も多くのご父母の皆様参加を待ちしております。

■会場別参加状況

日程	会場	人数
9月7日(土)	浜松会場(オークアクトシティ浜松)	66名
	四日市会場(四日市都市ホテル)	39名
	岐阜会場(ホテルリソル岐阜)	39名
	金沢会場(金沢都市ホテル)	19名
9月14日(土)	大会会場(名古屋キャンパス)	386名
	大会会場(瀬戸キャンパス)	116名
合計		665名

就職環境について

2013年度の就職環境は、全国的に見ると昨年同様に求人数が減少して、依然、厳しい状況が続いています。リクルートワークス社の調査によると、大学生・大学院生を対象とする求人数は、2011年度56.0万人↓2012年度55.4万人↓2013年度54.4万人と、3年連続で減少しました。求人倍率(求人総数/学生の民間企業就職希望者数)は、1.23倍↓1.27倍↓1.28倍と若干上がりましたが、これは少子化などによる学生の企業就職希望者数減少によるものと考えられます。

2008年秋に起こったリーマンショック以降、厳しい採用環境が続いており、企業側の選考基準も厳しく、基準に達しなければ無理して数合わせの採用はしないという、量よりも質を重視する「厳選採用」の傾向が続いています。

就職 戦線

本学学生の状況

全国的な就職状況と異なり、2013年3月卒業生の就職決定率は96.8%となり、リーマンショック以降順調に回復傾向にあります。今年の4年生についても、9月末現在の内定報告が51.7%で前年同期と比べて6.5%の上昇となっています。また、求人数についても、2010年度4776社↓2011年度5420社↓2012年度6470社と増加しており、今年度についても9月末時点で6140社となっており、前年同期比14.4%の増加となっております。現在までの主な内定先は下記の通りです。

就職決定率・求人数ともに順調に増加しており、リーマンショック以前の状況に戻っております。また、10月以降も求人は届いていきますので、就職活動中のみならず最後まで気を抜かずに、キャリアセンターと連携をとって積極的に活動してください。

全国的には

厳しい状況が継続中、
一方東海地区は
順調に回復傾向。

学生時代を有意義に過ごして自己実現を

現代の企業が求めているのは学力や専門知識だけではなく、移り変わりが激しい社会の中で環境の変化に対応ができ、自分で判断して行動できる自律型の人間です。この自律とは自己管理ができ、自らが問題を発見して解決策を導いていけることです。そして、幅広い年代の人とのコミュニケーション能力や、説得力のある論理的な考え方ができる人間が求められています。

しかし、それは就職活動の時期になって突然できるものではありません。大多数の学生は、大学時代が社会へ巣立つ最終段階になります。将来の自分を見つえながら学生生活での目標を持ち、達成するための努力と積極的に行動し有意義な学生生活を送ることがキャリアアップ形成につながり、厳しい環境の中でも自己実現を達成させる大きなステップとなるでしょう。

2013年度 学部長表彰式が執り行われました

学業成績優秀者100名を表彰。

本学には、学業・スポーツ・文化・社会活動を通じて顕著な成果をあげた学生を表彰する制度があります。6月12日(水)に名古屋キャンパスと瀬戸キャンパスのチャペルで、昨年1年間の学業成績優秀者および模範学生を表彰する「学部長表彰式」が執り行われました。式では、各学部長が祝辞を述べた後、表彰者への表彰状と学業奨励金(図書券)が授与されました。今後も学生の自分である学業を中心に充実した学生生活を送るよう期待しています。



2013年度学部長表彰者

【経済学部】4年生	石川 彩花 堀 拓哉 安藤 優 伊藤 優花	伊藤 裕英 安達 駿尚 廣田 真衣子	柴田 翔平 山崎 寛門 三島 範子	隠塚 翔太 安達 卓哉 近藤 正利	2年生	廣瀬 菜以子 藤田 一馬 滝口 康太郎	小栗 拓 面曾 修平 加藤 誠也	四谷 有里 櫻井 佑弥	大森 将敬 小山 茜
【外国語学部】4年生	遠藤 俊弘 久保 美咲 加藤 瑞穂 手塚 千晶	岩井 静香 古田 つぐみ 平田 翔士 井田 千尋	村瀬 伊織 中村 綱希 小林 城	近野 凌汰 鈴木 優太 澤田 知嗣	3年生	福山 明日子 貴安 笑里	岩瀬 莉央 柿田 果穂	田中 琢己 堀井 勇佑	谷口 久人 阪本 悟
【スポーツ健康学部】					2年生	山口 功祐 福井 美樹 神田 知輝	立岩 和晃 伴 菜摘 小林 加奈	古川 紗矢香 谷 彩加	杉田 祐美 橋口 孝太 西田 和真
【商学部】4年生	石川 彩花 堀 拓哉 安藤 優 伊藤 優花	伊藤 裕英 安達 駿尚 廣田 真衣子	柴田 翔平 山崎 寛門 三島 範子	隠塚 翔太 安達 卓哉 近藤 正利	3年生	後藤 拓 若杉 鏡	千田 晃大 岡村 英理香	中根 光保子 岩瀬 雅和	後藤 啓介 菊川 正人
【商学部】3年生	小寺 諒太 柴本 三智子 前出 真杜	宇野 雄登 柳 雄斗	平野 智紀 小寺 宏幸	後藤 啓介 菊川 正人	4年生	飯嶋 美帆 栗田 有里子 松田 輝宝	野末 琢馬 柴田 真有 寺澤 雄太		以上 100名

2013年度主な就職内定企業状況 (9月30日現在)	【小売業】	【航空・運輸・通信業】	【放送・広告・情報】	【サービス業】	【金融業】	【不動産業】	【公務員】
【建設業】 アイシン開発株、鹿島道路株、シブヤハイビング工業(株)、セキスイハイム中部(株)、トヨタホーム名古屋株、大東株 など	愛知トヨタ自動車株、愛知日産自動車株、(株)スズキ自販中部、トヨタカーロー中京株、名古屋スバル自動車株、(株)ホンダ四輪販売三重北、青山商事株、イオンリテール株、(株)エーピーシー・マート、(株)カインズ、(株)コメリ、(株)札幌に本店、(株)ジャパネットパレショップホールディングス、生活協同組合コープぎふ、(株)パピー、ユニー(株)、(株)サンドラッグ東海、(株)スギ薬局、(株)中京医薬品 など	ANA成田エアポートサービス株、全日本空輸(株)、あいの風とやま鉄道株、近畿日本鉄道株、名古屋鉄道株、五洋海運株、トヨフジ海運株、半田港運株、ホンダロジコム株、佐川急便株、西濃運輸株、福山通運株、キムラユニティー株、(株)引越社 など	(株)東海テレビ、東海広告株、(株)USEN、(株)リイド など	(株)ナカモサール、(株)ナゴヤキャッスル、(株)リゾートトラスト株、(株)関西エアポートエージェンシー、(株)シティアーズ、(株)日本旅行、(一財)空港保安事業センター、東海日中貿易センター、日本年金機構、日本郵便株、(株)ECC、ジャパネットカー株、(株)マシタコーポレーション、愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院、(医)仁医会 あいちリハビリテーション病院、(一社)巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院、つくしの病院、(社)名古屋市総合リハビリテーション事業団、日本赤十字社 名古屋第二赤十字病院 など	(株)名古屋銀行、(株)第三銀行、愛知信用金庫、大垣信用金庫、諏訪信用金庫、瀬戸信用金庫、知多信用金庫、豊橋信用金庫、浜松信用金庫、SMBCフレンド証券株、木村証券株、東海東京証券株、あいち中央農業協同組合、ひまわり農業協同組合、第一生命保険株、日本生命保険株 など	(株)ウッドフレンズ、(株)オリバー、(株)川崎ハウジング、(株)友友不動産販売株、(株)ニッショー、(株)プレサンスコーポレーション、(株)ミニミニ など	市町村職員、警察官、消防官 など
【製造業】 オージェス株、(株)大嶺名古屋、(株)かね丸、カネ美食品株、(株)三枝、東海紙器株、(株)東海理化電機製作所、(株)ナガラ、富士工器株、フジパングループ本社株 など							
【卸売業】 アルフレッサ日産産株、(株)MTG、(株)太田廣、(株)オークローンマーケティング、サントリービバレッジサービス株、(株)TDモバイル、高瀬物産株、辰日屋興業株、(株)デンソーセールス、三浦電気株、パナソニックメディアコムネットワークス株、(株)パロマ、(株)藤栄、(株)ペイクルーズ、山宗株、(株)ユタカ技研、渡辺パイ株 など							

基本的人権とは何かを理解し、
社会で起きる人権侵害の問題を
どのように解決したらよいか——

私の
講義日誌
29

学生たちの夢を応援する
教員が熱く語ります。



法学部 教授
山本 悦夫

My lecture diary

私は、今年度新設された法学部で、「憲法」を担当しています。今回は、1年次秋学期に開講している「憲法1a人権」の講義の内容をお話します。

人はひとたび権力を握ると、それを自分のために行使したくなるということ、世界の歴史の中でいくつも確認することができます。「憲法」は、国家の権力がその目的を逸脱して行使され、結果的に国民の有する基本的人権が侵害されることのないようにしようとする国家の基礎法をいいます。その上で、憲法は国民ひとりひとりの価値を尊重することが重要と考えて、基本的人権の尊重を定めています。

では、憲法の定める基本的人権とは何でしょうか。基本的人権の考えは、近代市民革命における1789年のフランス人権宣言1条が「人は自由かつ権利において平等なものとして出生し、存在する」と定める自然権の思想に由来します。そして、基本的人権は、①自由権、②社会権、③受益権、④参政権の4つに大別することができます。まず、①自由権

は近代市民革命以来、基本的人権の核心にある権利で、あることをすることまたはしないことについて、国家の干渉を受けないことを保障します。このことは、人間の精神的活動の自由、身体の自由、経済的活動の自由の3つの領域に分けて考えると分かりやすいでしょう。次に、②社会権は、資本主義の結果生じた経済社会的弱者が人間たるにふさわしい生活の保障を国家に求める権利です。これは20世紀になって認められた人権であり、生存権や教育を受ける権利などを含みます。そして、③受益権は、裁判を受ける権利など人権侵害に対する救済を国家に求める手段としての権利です。最後に、④参政権は主権者としての国民が国の政治のあり方を決定する権利です。

基本的人権については、2年次春学期に開講する「憲法1b人権」のなかで、さらに詳しく扱う予定です。それぞれの基本的人権とは何かを理解し、社会で起きる人権侵害の問題をどのように解決したらよいかを考えてもらうことができれば幸いです。



地(知)の拠点

文部科学省
「地(知)の拠点整備事業」に採択

『地域の質』を高める『地』域連携・
『知』識還元型まち育て事業

ESSAY 40

経済学部 教授
井澤 知旦



いま、日本は人口減少下にあり、経済のグローバル化や地域の活性化、震災への対応等、私たちをとりまく社会環境が激変するなかで、大学に対する期待は大きいものがあります。具体的には①グローバル化に対応した人材育成、②地域再生の核となる大学づくり、③研究力強化にむけた大学改革が期待されています。

右記②に対応して、文部科学省は「地(知)の拠点(Center of Community)整備事業」(略して、「大学COO事業」)の公募を本年度行いました。この事業は大学と自治体が連携して、大学の持つ教育・研究・地域貢献の総合力を活かし、地域の課題解決に資する人材育成や情報・技術提供の役割を担おうというものです。320近くの大学等が応募し、うち52件(私立大学15校)が採択されましたが、名古屋学院大学も難関を突破して、その一つになりました。

まちづくり、三つ目は暮らしの基盤を底上げする減災福祉まちづくりです。これらのまちづくりを通じて、地域の元気を取り戻し、人々の暮らしや企業の活動に関わる「地域の質」を高めていこうというものです。

そのためには、自治体(大学が立地する名古屋市や瀬戸市)との連携はもとより、関係する市民やNPO、企業や業界団体とも力を合わせていかなければ実現できません。さらには本学自身が大学全体の取組みとして捉え、学生の年次にあわせた実践的な地域志向のカリキュラムにまで踏み込んで対応していくものです。

この事業は本年度からスタートして、当面5年間の予定で実施していくものです。読者の皆様のご支援・ご協力をいただければ幸いです。



2012(平成24)年度 決算総括表

学校法人名古屋学院大学の2012年度決算および2012年度事業報告は、
2013年5月21日に理事会で承認されましたので概要をお知らせいたします。

なお、2012年度計算書類および2012年度事業報告は、本学ホームページに掲載されておりますのでご参照ください。

学校法人会計は、経営の状況を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状況を見る「資金収支計算書」および財政の状況を見る「貸借対照表」により表示されています。この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の良し悪しは、消費収支が均衡状態であるか否かが一つの判断基準になります。また、経営状態の結果は財政の状態を表す貸借対照表上の財務比率や正味財産に影響を与えることとなります。

2012年度(平成24年度)は、予算編成上の新入生数を確保できなかったことから第1次補正において物件費を抑制しました。教育環境は、大学の基幹システムであるキャンパスコミュニケーションシステムを2010年度からの継続事業として開発(2013年度完成)、施設設備として名古屋キャンパスアリーナに空調機を新設、瀬戸キャンパス図書館を耐震化、瀬戸キャンパス第1グラウンドのクラブハウスを建替する等、快適で安全な教育研究活動の場とする整備をしました。学生数は新入生1,226名(学部1,160名、大学院66名)を迎え、期首学生総数は5,261名(学部5,094名、大学院167名)となりました。

● 資金収支計算書

資金収支計算書は、消費収支項目に積立金や借入金等の外部資金を加えて、当該会計年度の教育研究活動に対応する全ての資金の取入と支出を明らかにし、支払資金の順末を明らかにするものです。当該年度の決算規模は110億3,804万円となり前年度と比べて1億4,023万円増加しています。この内、次年度繰越支払資金は46億7,638万円で前年度より5億9,728万円増加しており、理論的に期末に最低保持する支払資金は、第4号基本金(4億1,500万円)、前受金(12億5,865万円)、未

収入の部		支出の部	
科目	'12年度決算	科目	'12年度決算
学生納付金収入	5,549,298	人件費支出	3,218,154
手数料収入	125,906	教育研究経費支出	1,465,095
寄付金収入	20,456	管理経費支出	437,678
補助金収入	489,728	借入金等利息支出	5,548
資産運用収入	169,559	借入金等返済支出	146,000
資産売却収入	55,651	施設関係支出	647,723
事業収入	30,386	設備関係支出	93,961
雑収入	139,708	資産運用支出	579,700
借入金等収入	0	その他の支出	647,723
前受金収入	1,258,645	予備費支出	0
その他の収入	301,479	資金支出調整勘定	△ 406,305
資金収入調整勘定	△ 1,181,886	次年度繰越支払資金	4,676,381
前年度繰越支払資金	4,079,105		
収入の部合計	11,038,035	支出の部合計	11,038,035

消費収入の部		消費支出の部	
科目	'12年度決算	科目	'12年度決算
学生納付金	5,549,298	人件費	3,578,300
手数料	125,906	(内退職給与引当額)	(538,594)
寄付金	23,777	教育研究経費	2,050,043
補助金	489,728	(内減価償却額)	(584,948)
資産運用収入	169,559	管理経費	465,782
資産売却差額	52,651	(内減価償却額)	(28,104)
事業収入	30,386	借入金等利息	5,548
雑収入	140,738	資産処分差額	20,090
		予備費	0
		消費支出の部合計	6,119,764
消費収入合計	6,582,043	当年度消費収支差額	94,151
基本金組入額合計	△ 368,128	前年度繰越消費支出超過額	△ 3,590,262
消費収入の部合計	6,213,915	翌年度繰越消費支出超過額	△ 3,496,111

払金(3億8,278万円)の合計額(20億5,643万円)が必要となりますが、これを大きく上回っており、資金繰りには影響がないと思われます。

● 消費収支計算書

消費収支計算書は、消費収入の部合計額(帰属収入合計-基本金組入額合計)から当該年度に消費する消費支出の部合計額を比べて、当該年度消費収支差額を算出する構造になっています。これにより当該年度消費収支の均衡状態はどうか、経営状態の健全性はどうかを見ることが出来ます。

当該年度の決算では、帰属収入が65億8,204万円、基本金に3億6,813万円を組入れた結果、消費収支差額は9,415万円の収入超過となりました。

● 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点での資産・負債・基本金等の学校法人の財産状況を表しています。資産の部合計は270億8,467万円で前年度末と比べて8億2,336万円増加しています。

負債の部合計は43億3,045万円で前年度末比3億6,108万円増加しています。基本金の部合計は本年度末262億5,033万円となり、前年度末と比べて3億6,813万円増加しています。

本法人の2012年度末正味財産(資産の部合計-負債の部合計)は、前年度末から4億6,228万円増加して227億5,421万円となりました。

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	22,213,428	21,990,124	223,304
土地	3,651,094	3,654,094	△ 3,000
建物	9,988,745	10,275,562	△ 286,817
構築物	704,218	748,615	△ 44,397
機器備品	318,221	362,727	△ 44,506
図書	2,170,667	2,136,035	34,632
車両	14,048	14,066	△ 18
建設仮勘定	0	840	△ 840
その他の固定資産	5,366,435	4,798,185	568,250
流動資産	4,871,241	4,271,188	600,053
現金	4,676,381	4,079,105	597,276
その他の流動資産	194,860	192,083	2,777
資産の部合計	27,084,668	26,261,312	823,356
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,470,813	2,256,666	214,147
長期借入金	401,500	547,500	△ 146,000
学校債	0	0	0
退職給与引当金	2,069,313	1,709,166	360,147
流動負債	1,859,641	1,712,711	146,930
短期借入金	146,000	146,000	0
未払金	382,775	483,423	△ 100,648
その他の流動負債	1,330,866	1,083,288	247,578
負債の部合計	4,330,454	3,969,377	361,077
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	26,250,325	25,882,197	368,128
基本金の部合計	26,250,325	25,882,197	368,128
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 3,496,111	△ 3,590,262	94,151
消費収支差額の部合計	△ 3,496,111	△ 3,590,262	94,151
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	27,084,668	26,261,312	823,356

2012年度決算財務比率

● 消費収支計算書関係 財務比率推移

No.	比率名	算式	'07年度	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	高低評価	私大平均	財務比率の意味
1	学生納付金比率	学生納付金/帰属収入	83.3	83.8	81.4	86.2	86.2	84.3	~	72.7	学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。
2	基本金組入率	基本金組入額/帰属収入	8.1	9.9	21.7	7.1	9.1	5.6	△	11.6	大学の諸活動に不可欠な資産充実のためには、基本金組入額が大きくなり、またこの比率が高いことが望ましい。自己資金充実のためには、この比率が高いほど好ましい。
3	人件費比率	人件費/帰属収入	47.1	47.5	45.8	48.3	53.2	54.4	▼	54.0	人件費は消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。
4	教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	32.8	30.1	29.0	31.2	32.9	31.1	△	30.9	教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費収支を圧迫しない限り、この比率は高いほど好ましい。
5	管理経費比率	管理経費/帰属収入	6.2	5.6	6.3	5.6	7.0	7.1	▼	8.7	管理経費は教育研究活動に支出された以外の経費である。学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。

● 貸借対照表関係 財務比率推移

No.	比率名	算式	'07年度	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	高低評価	私大平均	財務比率の意味
1	固定資産構成比率	固定資産/総資産	84.4	86.6	83.7	82.7	83.7	82.0	▼	87.0	有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は流動資産構成比率とともに、資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値が良い。
2	固定負債構成比率	固定負債/総資産	9.3	8.8	8.0	8.3	8.6	9.1	▼	7.5	負債構成のバランス及びそれぞれその比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給与引当金等であり、長期に亘って償還又は支払いを要する債務である。高い値は好ましくない。
3	自己資金構成比率	自己資金/総資産	84.3	84.1	84.7	85.4	84.9	84.0	△	86.9	基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値が良い。
4	固定比率	固定資産/自己資金	100.2	103.0	98.7	96.9	98.6	97.6	▼	100.1	固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判定する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われており望ましいが、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値が良い。
5	負債比率	総負債/自己資金	18.6	19.0	18.0	17.2	17.8	19.0	▼	15.1	他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかどうかを見る指標で、100%以下で、低い値ほど望ましい。
6	流動比率	流動資産/流動負債	241.7	186.2	226.0	271	249.4	261.9	△	230.3	短期的に支払を迫られる流動負債に対し、現金預金又は短期的に現金化するこことできる資産の割合がどの程度かという資産流動性、即ち支払能力を判定する指標。150%~200%以上が望ましい。
7	総負債比率	総負債/総資産	15.7	15.9	15.3	14.6	15.1	16.0	▼	13.1	総資産に対する他人資産の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超えると負債総額が自己資金を上回ることになり、さらに100%を超えると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

(注) 1. 私大平均は、日本私立学校振興・共済事業団「平成23年度版今日の私学財政」の大学法人(医歯系法人を除く)の平均値 2. 高低評価も同資料による △高い値が良い ▼低い値が良い 3. 総資産=負債+基本金+消費収支差額 4. 自己資金=基本金+消費収支差額

2013年度 父母会総会 開催

2013年度父母会総会が6月15日(土)、名古屋キャンパス白鳥学舎において、ご父母110名のご出席により開催されました。第1号議案「2012年度事業報告および決算に関すること」、第2号議案「2013年度役員改選に関すること」、第3号議案「2013年度事業計画および予算に関すること」を審議し、すべての議案が承認されました。総会終了後は、本法人理事長の稲垣隆司により「私の歩んだ環境行政と大学としてできること」と題して講演会が行われました。その後、場所を食堂に移し、食事会、学部別懇談会が開催されました。なお、2012年度決算、2013年度予算については、下記をご覧ください。

2013年度名古屋学院大学父母会予算書 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

収入の部			
科目	予算額	前年度予算額	差異
会費	20,944,000	20,376,000	568,000
特別会費	6,010,000	7,185,000	△ 1,175,000
受取利息	5,000	5,000	0
前年度繰越金	11,415,722	13,733,304	△ 2,317,582
収入の部合計	38,374,722	41,299,304	△ 2,924,582

支出の部			
科目	予算額	前年度予算額	差異
学生教育活動費	[20,750,000]	[17,450,000]	[3,300,000]
学生修学等補助	8,900,000 #1	6,200,000	2,700,000
学生行事補助	5,950,000 #2	6,600,000	△ 650,000
課外活動補助	5,300,000 #3	4,650,000	650,000
就職活動補助	600,000 #4	0	600,000
学生厚生費	[800,000]	[0]	[800,000]
学生厚生費補助	800,000 #5	0	800,000
運営費	[3,300,000]	[3,750,000]	[△ 450,000]
会議費	500,000	500,000	0
事務用品費	100,000	100,000	0
備品費	100,000	250,000	△ 150,000
印刷費	600,000	600,000	0
郵便費	1,600,000	1,600,000	0
慶弔費	300,000	400,000	△ 100,000
雑費	100,000	300,000	△ 200,000
卒業記念事業積立金	[6,010,000]	[7,185,000]	[△ 1,175,000]
会員親睦事業	[500,000]	[500,000]	[0]
予備費	[1,000,000]	[2,000,000]	[△ 1,000,000]
前期末未払金支払支出	[1,050]	[3,570]	[△ 2,520]
次年度繰越金	[6,013,672]	[10,410,734]	[△ 4,397,062]
支出の部合計	38,374,722	41,299,304	△ 2,924,582

※1 学生修学等補助		※3 課外活動補助	
学業奨励金 (@20,000×100名)	2,000,000	クラブ備品援助	3,000,000
学業奨励金 (@20,000×100名)	2,000,000	教職員指導補助	1,200,000
父母完成継続付補助	2,500,000	クラブ遠征補助	1,000,000
父母懇談会会場補助	2,100,000	テーピング講習会等補助	100,000
資格取得奨励金等	700,000	合計	5,300,000
資格試験等受験補助	600,000		
資格講座費用補助	1,000,000	※4 就職活動補助	
合計	8,900,000	父母対象就職説明会補助	600,000
		合計	600,000
※2 学生行事補助		※5 学生厚生費補助	
体育会フレッシュマンキャンプ	150,000	美術館観覧料補助	800,000
体育会/文化会リーダーズ研修会	800,000	合計	800,000
大学祭補助	2,500,000		
卒業パーティー補助	2,500,000		
合計	5,950,000		

2012年度名古屋学院大学父母会決算書 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)

収入の部			
科目	予算額	決算額	差異
会費	20,376,000	20,084,000	292,000
特別会費	7,185,000	5,915,000	1,270,000
受取利息	5,000	2,861	2,139
前年度繰越金	13,733,304	13,733,304	0
収入の部合計	41,299,304	39,735,165	1,564,139

支出の部			
科目	予算額	決算額	差異
学生教育活動費	[17,450,000]	[17,741,848]	[△ 291,848]
学生修学等補助	6,200,000	6,377,401 #1	△ 177,401
学生行事補助	6,600,000	5,943,061 #2	656,939
課外活動補助	4,650,000	5,421,386 #3	△ 771,386
運営費	[3,750,000]	[2,408,269]	[1,341,731]
会議費	500,000	422,466	77,534
事務用品費	100,000	28,753	71,247
備品費	250,000	41,850	208,150
印刷費	600,000	339,423	260,577
郵便費	1,600,000	1,418,627	181,373
慶弔費	400,000	133,000	267,000
雑費	300,000	24,150	275,850
卒業記念事業積立金			

2013年12月～2014年3月 行事予定

- 12月
2日(月) クリスマスツリー点灯
11日(水) 学生部長表彰【名古屋】
12日(木) 学生部長表彰【瀬戸】
23日(月) 臨時開講
24日(火) 大学クリスマス礼拝【名古屋】
25日(水) 大学クリスマス礼拝【瀬戸】
NGUチャペルコンサート【瀬戸】
冬季休暇[～1月7日(火)まで]
8日(水) 秋学期授業再開
14日(火) 秋学期定期試験[～27(月)まで]
27日(月) 秋学期授業終了
- 1月
3日(月) 第1回本学主催個別会社説明会
[～7日(金)まで]
6日(木) 集中講義[～21日(金)]
11日(火) 第2回本学主催合同会社説明会
[～14日(金)まで]
- 2月
6日(木) 卒業確定者公示
14日(金) 学位記授与式
秋学期修了
- 3月

名古屋学院大学

公式facebookページでも

様々な情報を発信しています。
学生の活動やキャンパスの様子等を
中心に最新の情報を発信していますので
ぜひご覧ください。



COSMORAMA

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表すCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。
19世紀にロンドンの街角でしばしば行われた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。



留学生別科入学式を挙行
9月12日(木)に留学生別科の入学式が執り行われました。秋学期には24名の留学生が入学し、春学期から引き続き在学する8名と合わせ、留学生別科は総勢32名となりました。
入学後は、オリエンテーションや防災研修を実施。10月にはフィールドトリップを実施し、1泊2日で静岡県を訪れ、世界遺産に登録された富士山の麓で日本語を学びました。

2013年度 新任職員紹介

財務課

かど じゅん
角 潤



キャンパスの施設や設備の管理を通じて、皆さんの大学生活を応援します。

英語版ホームページを開設
11月に本学の英語版ホームページを開設しました。大学概要や学部学科・大学院研究科・留学生別科等を紹介するホームページです。今後このページを通して、海外に向けて大学の情報を発信して参ります。
本学ホームページ右上の「日本語/English」の切替部分からご覧いただけます。

Event Information

第2回 名古屋地区震災ボランティア学生交流会 第2部 講演会

日時:12月1日(日) 15時～16時30分
場所:名古屋キャンパス白鳥学舎「翼館」302
講師:佐々木 俊三教授
(東北学院大学副学長、同大 地域共生推進機構長、同大 ボランティアステーション前所長)
テーマ「大学と地域との関わり～東日本大震災の経験をもとに～」(仮)
宮本 哲也氏(名古屋市長)
テーマ「熱田区の防災まちづくりと大学への期待」

名古屋学院大学ファミリーコンサート「音楽で奏でるクリスマス」

日時:12月7日(土) 14時～16時
場所:名古屋キャンパス白鳥学舎「翼館」4階 クラインホール
演奏者:第1部・平松 八江子氏(ピアノ・歌)
第2部・NGUウィンドオーケストラ

大学クリスマス礼拝

日時:12月24日(火) 17時15分～18時15分
場所:名古屋キャンパス チャペル
奨励:高見 伊三男(宗教部長・スポーツ健康学部教授)

第58回NGUチャペルコンサート

日時:12月25日(水) 18時開演
場所:瀬戸キャンパス チャペル
演奏者:オマタ タツロウ(笛) 小俣 淳子(ピアノ)
※コンサートの前(17時～)に、大学クリスマス礼拝が執り行われます。
奨励:南 吉衛 桑名教会牧師

※詳細が決定し次第、本学ホームページでご案内します。

Information
インフォメーション

第49回名学大祭を開催
テーマは「Connect」
未来へつなぐ

10月26日(土)、27日(日)に第49回名学大祭を開催しました。台風の接近により開催が危ぶまれましたが、安全に留意のうえ無事両日とも開催することができました。

模擬店をはじめステージ企画、教室展示等のイベントで大盛況のなか、今年も「ごみ箱ゼロ」の取組を実施。学内のごみ箱の撤去やリユース食器の使用などを通して、エコへの意識を呼びかけました。
ご来場くださった皆様、ありがとうございました。



▲名学大祭の様子



▲瀬戸キャンパス祭の様子

第7回瀬戸キャンパス祭を開催
テーマは「結ぶLINK」
10月12日(土)に第7回瀬戸キャンパス祭が開催されました。
学生によるライブやダンスのステージ企画や模擬店は大盛況。人工呼吸、心臓マッサージによる心肺蘇生法などが体験できる「BLS(1次救命処置)講習会」や献血コーナーの設置など、瀬戸キャンパスらしい企画も開催されました。
ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

名古屋・瀬戸両キャンパスで
防災訓練を実施

11月1日(金)名古屋・瀬戸両キャンパスにて、災害が発生した際に学生・教職員がスムーズに安全な行動をとることができることを目的として防災訓練を実施しました。訓練は、授業時間帯に、作成した災害時行動マニュアルに基づき実施。学生・教職員が一体となって防災への意識を高めました。



スムーズに行動

2013年度 主なクラブ活動実績

2013年度は、馬術部をはじめ男子・女子・バスケットボール部、少林寺拳法部等、さまざまクラブが優秀な成績を収めました。主な実績は次の通りです。

2013年度クラブ活動結果報告(2013年11月現在)

クラブ名	大会名	種目	順位	
馬術部	第48回中部学生自馬競技大会	三種目総合	2位	
		総合馬術競技	3位	
		障害飛越競技60	優勝	
		障害飛越競技80	2位	
日本拳法部	第53回 中部日本学生拳法選手権大会	男子団体の部	3位(3勝1負)	
		女子団体の部	決勝トーナメント3位	
		男子バスケットボール部	第9回 日本大学フットサル大会 東海地区予選	Aブロック1位 エイトリーグ昇格
男子バスケットボール部	第84回 東海学生バスケットボールリーグ戦	Aブロック1位 エイトリーグ昇格		
女子バスケットボール部	第84回 東海学生バスケットボールリーグ戦	Aブロック1位 エイトリーグ昇格		
体育会	第22回愛知学生トライアル大会	学生賞典馬場馬術科目2010	優勝	
		障害飛越競技60	優勝	
		障害飛越競技80	2位	
		L級A障害	2位	
	馬術部	第48回中部学生自馬競技大会	学生選手権馬場馬術科目	3位
			障害飛越超トレニングクラス90	3位
	馬術部	第48回中部学生自馬競技大会	中障害飛越競技	2位
			総合馬術競技	2位
	ボクシング部	第83回全日本選手権大会ボクシング競技	ライトウェルター級	全国大会出場
	少林寺拳法部	2013年愛知県少林寺拳法大会	一般男子二段の部	2位
一般男子級拳士の部			3位	
文化会	ボラセンCWクラブ	地域での活動をはじめ、東日本震災復興に向けて現地で活動		
音楽コミュニケーションクラブ	くわの美福社会まつでの活動をはじめ、様々な幼稚園、児童館にて活動。			

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.jp/>



名古屋学院大学